

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】 第10号
令和7年12月12日 文責：立山 亮仁

人権教育を基盤として！

11月12日、本校を会場に「合志市人権教育推進協議会学校教育部会公開授業研究会」が行われました。市内各校から多くの先生方にご参加いただき、1年2組・3年3組・5年3組で公開授業を実施しました。授業後には助言者の皆様や参加された先生方と共に人権教育の実践について検証し、学びを深めることができました。子どもたちの姿や担任の取組を温かく見守っていただき、今後の取組に向けて具体的な示唆をいただきました。

研修会テーマは、「差別の現実に深く学び、暮らしを高め、豊かな未来を保障する人権教育を創造しよう～全ての子どもたちの人権意識を高め、部落差別をはじめ様々な人権問題の解決を目指す意欲と実践力を育てよう～」です。

本校では、学年ごとにテーマを設定し、人権について考える学習を行いました。子どもたちは教材文や体験を通して、仲間とともに生きることの大切さを学んでいます。今回は公開授業を行った1, 3, 5年生の紹介をします。

1年生

「さるとかに」のお話を題材に、大きなサルの意地悪に立ち向かう小さな力二たちの姿から、仲間とつながり、力を合わせて行動することの大切さを学びました。

3年生

暴言や嫌がらせを受けたときに、ただ黙っていてよいのかを自分に重ねて考えました。いじめる側・いじめられる側・傍観者、それぞれの立場を体験的に考えることで、自分の中にある差別心に気づき、差別をなくす仲間としてどう行動すべきかを話し合いました。

5年生

部落差別の不合理さについて学びました。互いの思いを伝え合いながら、差別をなくす仲間、そして心から安心できる仲間をどうつくっていくかを考え、学びを深めました。

今回の学びは、私たちの教育実践を見直す大切な契機となりました。学校全体で、これからも人権教育を大切にし、子どもたち一人ひとりが「かけがえのない存在」として認められ、互いに支え合いながら成長できるよう、今後も取組を継続してまいります。

ほっと一息⑨



挨拶は人の心と心をつなげる温かいものです。おじねんさんをはじめ、朝夕、挨拶運動や交通安全運動を朝からしている地域の皆様にあらためて感謝を申し上げます。